

# 中央公民館・勤青ホームだより



長瀬町中央公民館・長瀬町勤労青少年ホーム

長瀬町大字野上下郷 3312 TEL:66-1800 FAX:66-1564 Email:koumin-k@town.nagatoro.saitama.jp

令和7年11月1日発行

11月号



## 団体名：長瀬町水彩画会

活動日：月1回 第三木曜日

連絡先：中央公民館 ☎66-1800

会費：なし

その他：水彩画会会員一同、和気あいあい仲良く、作品作りに取り組んでいます。



- 受付開始は11月4日(火)から、ご来館・電話・FAX・Eメールなどの方法によりお申込みください。受付時間は、午前9時00分から午後5時00分までです。

# ながとろ町史を巡る講座

見学先	岩田神楽	犬塚の花見堂	風布の廻り念仏
見学地区	岩田地区	杉郷地区	風布地区
期　日	11月23日（日曜日）	12月14日（日曜日）	1月16日（金曜日）
集合場所 時　間	岩田総合グランド駐車場 午後1時00分	長瀬町中央公民館 午前11時30分	風布区集会所 午後2時30分
行　程	岩田総合グランド駐車場 ↓ 白鳥神社 ↓ 岩田神楽見学 ↓ 岩田総合グランド駐車場 解散 午後3時30分	長瀬町中央公民館 ↓ 花見堂 ↓ 犬の念仏塚 ↓ 長瀬町公民館 解散 午後1時30分	風布区集会所 ↓ 阿弥陀堂 ↓ 阿弥陀が谷地内の廻り念仏見学 ↓ 風布区集会所 解散午後4時30分
備　考	町指定無形民俗文化財		町指定無形民俗文化財
見学先	初午七社参り	講　師 小澤　守	
見学地区	長瀬地区	定　員 20名	
期　日	2月1日（日曜日）	参加費 無　料	
集合場所 時　間	郷土資料館 午前9時00分	その他	
行　程	郷土資料館 ↓ 大小稻荷大明神・小路 ↓ 正一位朝日稻荷・梁瀬 ↓ 藤谷渕稻荷神社・地蔵堂 ↓ 建国稻荷大明神・大木 ↓ 一本杉稻荷神社・駅前 ↓ 楠沢稻荷神社・本山根 ↓ 宝玉稻荷社・宝登山神社 ↓ 郷土資料館 解散 正午	• 荒天を除いて実施します。（各種の警報が発令された場合は中止） • 駐車場からの移動は徒歩となるため、動きやすい服装や靴などを着用し、水分や行動食などは各自で用意してください。 • 現時点で、実施日が確定していない「見学先」があります。これらの催しは例年の開催時期にあわせた案内となっています。日程が決まりしだいその都度ご案内します。	 <p>岩田神楽 大黒天</p>
備　考			



## 今月のカレンダー

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
内 容	(十一月九日まで) 読み書き週間		文化の日		ぶらり里山ハイク	ながとろ雑学カレッジ 「あなたががんと言われたら」			秋の全国火災予防運動 カンパニアコンサート	サーキットチエア講習会					七五三	ちかぶの奥座敷(西神)



# お正月飾り講座

期 日：12月6日（土）

午前9時00分～正午

場 所：長瀬町中央公民館 二階 会議室

講 師：野口 清 先生

定 員：20名

参 加 費：無料

その 他：材料代として当日300円徴収いたします。

汚れてもよい服装でお越しください。

わらを成形するため、はさみを持参してください。

申込み：材料準備の都合上、11月28日（金）までにお申ください。



△制作予定作品



## 名作劇場

人  
権  
週  
間

## 「わたし、生きてていいのかな」

期 日：12月4日（木）午後1時30分～午後3時45分

共 催：長瀬町人権擁護委員 長瀬町人権教育推進協議会

会 場：長瀬町中央公民館 二階 会議室



母親から虐待を受けていた高校生の千晶は、繁華街で警察に保護され、子どもシェルターで暮らし始める。そこで、千晶は信じていけるスタッフと出会い、明日に向かって歩み始める。児童虐待、ネグレクトなど、子どもたちが直面している問題、過去の傷を抱えたまま大人になった人たち、傷ついた子どもたちを支える大人の活動を描く。



期 日：12月20日（土） 午前10時00分～午前11時00分

場 所：長瀬町中央公民館

上 映：ポポの会

対 象：幼児、児童、保護者

※幼児が参加する場合は、保護者同伴でご参加ください

定 員：30名

参加費：無料

手あそび  
パネルシアター  
大型絵本のよみきかせ  
ミニ人形劇 などやるヨ！



## 臨時休館の お知らせ

長瀬町文化展や秩父夜まつりのため、下記のとおり臨時休館となりますので、ご利用の際はお間違えのないようお願いいたします。

11月1日（土）夜間 17:00～21:00

11月2日（日）夜間 17:00～21:00

11月3日（月）夜間 17:00～21:00

11月4日（火）夜間 17:00～21:00

12月3日（水）終日 9:00～21:00

日	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	月末休館日
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
内 容							ながとくちを巡る講座 岩田神楽	勤労感謝の日 振替休日							

# 新刊図書のご案内

書籍名	著者	出版社
<b>運転者</b> 主人公の修一は、保険の営業に転職して3年、仕事でもプライベートでも多くの問題を抱え、精神的に窮地に追いやりられてしまう。「……なんで俺ばっかりこんな目に合うんだよ」思わず独り言を言ったそのとき、ふと目の前にタクシーが近づいてくるのに気がつく。それは乗客の「運」を「転」ずるという摩証不思議なタクシーで——？	喜多川 泰 	ディスカヴァー・トゥエンティワン
<b>春の星を一緒に</b> 「ここで死ぬのを待つんですね」その言葉に、あなたはどう答えますか？緩和ケア病棟という“命の終わり”と向き合う場所を舞台に、看護師として、母として、そして一人の女性として生きる奈緒の姿を描いた物語。死と隣り合わせの現場で「生きる」ことを諦めない“命の尊厳”について綴っています。	藤岡 陽子 	小学館
<b>イノセンス</b> (失踪した天才ギタリスト×彼に憧れるスランプ中のシンガーソングライター) 音楽を通じて再生していく二人の姿に、心がじんわりと温かくなる物語。 俺の人生に、俺たちの音楽に罪はなかったのかー。かつて夢を追いかけていた、すべての大人たちへ贈る青春小説。	菅田哲也 	幻冬舎
<b>翠雨の人</b> 「雨は、なぜ降るのだろう。」少女時代に雨の原理に素朴な疑問を抱いて、戦前、女性が理系の教育を受ける機会に恵まれない時代から、科学の道を志した猿橋勝子。その生涯にわたる科学への情熱をよみがえらせる長篇小説。	伊与原 新 	新潮社
<b>わたしの美しい戦場</b> 美しい色。美しい香り。時間をかけ心を尽くして旬を集めることは、わたしの生活そのものだー。春はふきのとうを摘み、竹の子を掘る。夏は草を刈って桃をかじる。秋は柿を干して鹿肉を焼き、冬は薪を割って柚子を蒸す。12ヶ月の味わい深い物語。	寿木 けい 	新潮社
<b>イン・ザ・メガチャーチ</b> 沈みゆく列島で、“界隈”は沸騰する——。 ファンダム経済を仕掛ける側、のめり込む側、かつてのめり込んでいた側。世代も立場も異なる3つの視点から、人の心を動かす“物語”的功罪を炙り出す。 「神がないこの国で人を操るには、“物語”を使うのが一番いいんですよ」	朝井 リョウ 	日本経済新聞出版
<b>百年の時効</b> 1974年に起きた一家惨殺事件は未解決のまま50年。アパートで見つかった、一体の死体により事件の針は再び動き出す。真相解明に足りない最後の一ピースとは何か？刑事たちの昭和は終わらない、真犯人が見つかる、その日まで。	伏尾 美紀 	幻冬舎
<b>祈られて、がんと生きる</b> 「祈ること」、それは「その方を思い続けること」がんを患うボクと、その傍らにいる牧師のホンネと涙と祈りがつまつた、たましいの往復書簡。	峰岸 大介 大嶋 重徳 	いのちのことば社
<b>50歳の棚卸し</b> 50歳までひた走ってきたフリーアナウンサーがこれまでの人生を棚卸ししてみたら。自分のせいで番組終了、ヤバすぎる元彼、心が乾き切った40代での婚活、壮絶な不妊治療。真正面から向き合って見えたのは、“自分にとっての本当の幸せ”。	住吉 美紀 	講談社
<b>一日5分で自分をリセットする ひとり茶道</b> 古くから日本文化に根づいている「お茶」が、現代人の心と身体を整え、穏やかな時間をもたらす。心身ともに充実したライフスタイルを実現するための日常生活で簡単に実践できる心と体の“整え方”を提案します！	竹田 理絵 	青春出版
<b>めくってオモロい マジすか科学</b> 思わず「マジすか!?」と言ってしまうような科学の知識が満載！読書が苦手なお子さんでも笑いながら読めて知的好奇心が育っちゃう！！	こざき ゆう 	Gakken

## 【編集後記】

県立熊谷図書館のご協力により、一般書・児童書・幼児書が計120冊配本されました！！ 公民館ロビーに特設コーナーを設けておりますので、手に取ってみてください。